



第 728 号
発行人●豊丘村公民館館長市澤和宏編集人●長野県下伊那郡豊丘村公民館報編集委員会0265-35-9066印刷所●龍共印刷株式会社

私たちの村 (10月1日現在 ※外国人を含む)

男女人口世帯数 3,350人 3,369人 6,719人 2,223戸

37 名の参加

受けるかたちとなり、

昨年

ナウイルス感染症の影響を

しかし今年も、新型コロ

月十五日 (水)

期することとし、

催しました。 ントリークラブで開 当日は幸いにも好

の皆さんは、慌ただ 天に恵まれ、参加者

村内在住の方や村 コロナ感染対策に は例年どおり高森カ 百三十七名で、会場 内にお勤めの方など た。今年の参加者は 留意して開催しまし 同様に開催時期を延

最後になりましたが、ご

いただいた企業の皆様に、 の皆様、協賛賞品をご提供 後援いただいた企業・団体

き肉親の手記等読み応え満

土記として地域 土・紀行・随筆

います。 清々しさを感じながらプ たコース上で、爽やかさ しい日常を忘れて広々とし レーを楽しまれたことと思

気候や農繁期に配慮するな

豊丘村民ゴルフ大会は、

ど、プレーしやすく、でき

実行委員のみでの開催とし 参加者全員で行う懇親会は コロナ感染対策のため昨年 に続き中止とし、表彰式も こく限られた上位入賞者と

催が定着しています。

長年にわたり検討を積み重 すい時期に開催できるよう、 るだけ多くの方が参加しや

ねてきた結果、六月中の開

しかし、プレー終了後に

おいて大切なことは、 はもとより、大会の プレーを楽しむこと 村民ゴルフ大会に

康の増進を図り、生き甲斐 のある村づくりをめざすと ちが親睦と交流を深め、健 いは村内で働く方た

ない人たちと交流すること さんからは、懇親会を通し いうことです。参加者の皆 の表彰式と懇親会が行える こそは是非、この二年続け るとの声があります。来年 が非常に有意義なものであ なり普段は行き会うことも て、暮らす地区や職場が異 てできなかった従来どおり ことを期待いたします。 十九八七六五四 九八七六五四三準優位位位位位位位位位位位

福前林壬立片片澤野 生木桐桐

慶治 秀和

ベストグロス賞 盨 孝吏 恵

女性

位

和夫

砂場

卓見

健太 俊揮

るとおり、村民ある 目的にも謳われてい 第24回豊丘村民ゴルフ大会表彰式

(教育委員会事務局 ます。

松村幸紀)

深く御礼申し上

優勝カップを受ける片桐さん(左)

。段丘

山間地。ここには畑もあり らゆる場所が、全て美しい が長くなれば村の景観のあ 村。この村で生活すること するのんびりとした原風景 小さいながらも水田が点在 の面積を確保し家を建てる た。山の斜面に少しばかり と感じるまでになってい 豊かな自然あふれる豊丘

思い、記録としての写真に 村にとって日本にとって、 化されても人間味を感じる 今も取り組んでいる。近代 く環境と眺めの良い眺望が る景色だけはこれ以上壊し 解消できたにしても、今あ 流れ落ちる段丘の姿はここ られるが、緩やかに天竜に 囲まれた場所は他村でも見 りに自然があるという宝に が森や林とともに息づいて の癒しを味わえるのだと考 風景に出会えたとき、本当 い今の自分たちの使命だと 守っていかなくてはならな てほしくない。心が落ち着 たことで、少しは不便さを けるための道路が整備され 不便でも今の場所に生き続 にしかないと思っている。 いるのが我が村なのだ。周 自然の環境を守りながら

回る自分がいるのです

10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 H

のどかな山里の北入(2009.11月撮影)

(宮下正弘)

二六災六十周年 豊丘を襲った「災害」特集

正義氏が特集号として『松 は風土記第2集『豊丘村を 25輯は、前編集委員長水野 の皆様からご寄稿いただき (月中旬、豊丘史学会 襲った「災害」特集』とす たいと考え、編集委員会で わせていただき村民の皆様 の社会教育推進の一端を担 野氏に育てていただいた風 土記の伝統を受け継ぎ、村 編集計画の検討に当り、水 心血注いで刊行されました。 ることで合意いただきまし 意見交換をし、『豊丘村を に大切に読まれる本を作り |次世界大戦||[毛涯章平先 人・その教育』の五輯を

刊行いたしました。第21

尾多勢子』『民話・伝説』『リ ア新幹線』『満蒙開拓・第

た。災害の範囲は、

襲った「災害」特集」を、大勢

ばと思います。

自然災 協力し合った仲間意識、亡 年目であること。今編集し 害発生時の惨状や緊迫感 なければ、伝承できない災 本年が三六災害から六十

れたかを検証すること、そ 被災された皆様が、如何に 害·感染症災害·人為的災 の過程での心の持ち方を共 困難に立ち向かい立ち直ら 害等広範囲にわたります。 の肥やしにしていただけれ に学ばせていだだき、読者 害の甚大化は顕著でありま くと気圧が一層下がり、 来する台風も、本土に近づ 課題となっております。 素社会の再構築が世界的な 海の海水温が上昇し、脱炭 大化し豪雨災害の頻度、被 地球温暖化に伴い日本近

> お求め下さい。 は豊丘村歴史民

え、微力ながら村内を歩き

センター公民館事務局また 五百円で、豊丘村交流学習

俗資料館で

記事も掲載してあります。

・記録等の に関する風

購読希望の方は

は、一冊千

豊丘風土記

刊行につい

風土記編集委員長 豊丘村史学会副会長·

下泰見

村民挙って、防災意識を高 とを祈願し、手元に 位のお役に立てるこ める必要があります。 れております。だからこそ 命を守る行動が呼びかけら す。土石流災害の報道や、 この本が、村民各

豐立風土記

置いて読んでみたい たします。なお、 冊としてお奨め

歌は世につれ~

母娘の心情あふれる『秋桜

不慮の事故で亡くなった。

上佐原

さんをイメージして詩を書 母を想う歌だが、さだは妹 曲はさだまさし。嫁ぐ娘が 曲が世に出た。山口百恵の 優しさと情緒にあふれた名 母娘の想いを温かく描いた、 いたという。 『秋桜』である。作詞・作 九七七年、結婚前日の

とって、それまでのイメー ジを一変させ、大きな転機 気を博していた山口百恵に ひとつ咳をする♪『秋桜』 脆くなった母が まりに揺れている 此頃涙 が秋の日の 何気ない陽溜 となった歌である。さだは、 は、当時ツッパリ路線で人 ♪淡紅の秋桜(コスモス) 庭先で に」。つれない言動だった 話になりましたとは言わん 世話になっとらんで、お世

か

さを感じていたという。山 結婚式の前日、母に「長い ドに仕上がった。 的で哀愁漂う大人のバラー を表現し、『秋桜』は抒情 口百恵は、さだの思惑通り 私に言った。「兄ちゃには 言って頭を下げた。続いて 間お世話になりました」と たとき妹が結婚した。妹は 日の情景が目に浮かぶ。 清楚で日本的な女性らしさ 山口百恵に日本女性の奥深 年後、私が社会人になっ 『秋桜』を聴くと、あ 『秋桜』の発売からほぼ 小池 光好 りある。 を失い、先行きが不透明と らしとなった。突然大黒柱

謝を伝える心境ではなかっ 故郷には戻らなかった。妹 る思いに反し、私は一年留 就職で戻って来るまでの辛 る形となった。妹は、兄が 家族のめんどうを押し付け なる中、多感な年頃の妹に の落胆はいかばかりだった 年した上に東京で就職し、 抱だと耐えただろう。切な たにちがいない。察して余 いた(と思う)妹でも、感 か。仲が良く慕ってくれて

るまで母と過ごすことがで の 子供でいさせてくださ かな日はもう少しあなた い♪ 結果的に妹は結婚す ♪こんな小春日和の穏や



きた。辛い歳月だったと思 するための方法三つです。 ハつ。具体的な目標を達成 トは全部で 体的な目標 九。内、具

勉強したいと思います。さ 標ですので今回はしっかり だけかもしれませんが) 目 とっては、なじみの薄い(私 している人がどれくらいい て、このジェンダーを理解 きない目標です。私たちに 達成に向けて欠くことので 標です。そしてSDGsの 今の日本にとても重要な目

うが、母娘ともども掛け替

えの無い日々を送れたので

はないだろうか。

を達成し、すべての女性及 ●目標5 ジェンダー平等 び女児の能力強化を行う ターゲッ

は違い、それぞれの社会で ありさまです。ジェンダー 私も恥ずかしながら無知で 物学的性別(セックス)と ここに来て少しだけ理解し まった新しい考え方で、生 とは一九七〇年代以降に広 たのではないかな?という

るのでしょうか?かくいう

でいました。それを見た男 の子が重そうな荷物を運ん

り力持ちなんだ、なんて陰

でささやかれたりする光景

てこの目標の中に 利を守るというな

荷物を運んでくれました。 る女の子が来て、代わりに ん?男の子のくせに何だ、

だらしがない。とか、なんだ

とか、あの女の子、男の子よ

女の子に手伝ってもらって。

面は皆さんどんなふうにお うです。たとえばこんな場 会的・文化的に形成されて きた性別」という意味だそ 考えられているような「社 感じになるでしょうか?女 |男らしい] [女らしい] と

運んであげた。とても当た 運んでいました。そこへあ がとても重たそうな荷物を それではその反対、男の子 り前のような気がしますね。

等にという目標 ような考え方を再認識する けではありません、この頃ことを学びました。これだ ようにならない。 対も当たり前と感じ取れる 必要があると思

ちにできることは何かを考

この目標5に対して私た

がってしまうかもしれませ います。頭の中がこんがら のあり方を認めその人の権 LGBTQ」という言葉を に含まれて といけない 様な「性」 なりました。 与え方とし ④回りの人々に対し多様性 ③地域等でのいろいろな役 ②家事を性別で分けていな を認められる自分なのか、 決めを男女平等に変えてみる 返ってみる ①「男の子だから」「女の などです。 自分に問うてみる いか考え平等に負担してみる していないか自分を振り 子だから」という考え方を

耳にするように

|男女||に加え多

できるように今後一層勉強 目標です。すんなりと理解 したいと思います。 私たちにはとても難解な

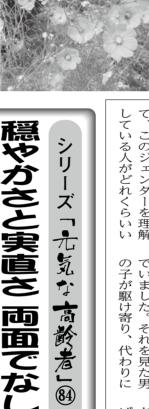
ばれるものです。これを平

認識しておきまり

しょう。

男女平等だけではない事を 違いではないですが単純に んが幅が広い目標です。間

さ」でありジェンダーと呼 れ、すり込まれた「らし 会の中でいつのまにか作ら れが私たちが生きている社 を思い浮かべませんか?こ



☆いつまでも続く不安☆

ح

ょ

お

の切実な心情に寄り添うべ その不安は増大します。 残土置き場は当然老朽化. ずうっと抱いて暮らすこと む人たちは、心配や不安を かれれば、虻川下流域に住 になります。時間が経てば ☆虻川下流域に住む人たち 上流にいったん残土が置

章(古畑)

配が十分に取り上げられて 協議会などが開かれてきて 会、地権者決議、村の対策 来ていません。 ろで下流域住民の不安や心 いますが、そういったとこ 何度かのJR東海の説明

此川下流域三六災害体

どするかもしれないという気持ちのままでは

段に残土を運べば、生活に 大きく影響する」といった ことが強調されるようにな 「苦渋の決断」とか 「下

話です

自由に意見や情報を交換す たかのようです。命や財産 下流域の人たちの心配や不 ることもなく、とても重苦 に関わる大切なことなのに 安は、かき消されてしまっ い雰囲気です。下流域の まともな議論もなく、 川の川底を大きな石が流れ なことではありません。 その音が家の中に響く」。 土工事が進むことは穏やか 人たちにとって、上流で残 雨がたくさん降ると、 そんな不安な気持ちが孤

検討されないまま、工事が の受け止めが大事だと思い ますが、そういったことは とを大多数の人が「心配だ」 家を回ると、残土工事のこ と仰います。地域として 避けるためには、私たちそ れぞれの「今」が大変重要 て大きくなっていくことを 立したまま時が経つにつれ

まってい いる人の 活されて そばに生 川のすぐ ます。虻 進んでし

豊丘本山更生会の法被

普段から不安を抱いている 虻 阿部治子さん 九十一歳 下市場在住



りなので子供の足取りでも 蜂谷家で、四人きょうだい なのが密かな誇りであっ た。小柄な体格ながら丈夫 あり一時間ほどかけて通っ は約一里の距離、往きは上 農家であった。小学校まで が二人、妹が一人であり末 の長女として生まれた。弟 た。主に蚕、米を手掛ける 子とは十五歳近く離れてい 昭和五年に高森下市田の

た。高等科の卒業旅行とし

年学校へ四年間通い、外部 あった。高等科を卒業し青 印象に残っている。平谷小 家業の手伝いに就いた。 とは言え、厳しい鍛錬で 代半ばで体は成長していた 歩という行軍であった。十 体育館に泊まり、帰りは徒 行きそこから歩いて移動し 学校まで、電車で切石まで て経験した鍛錬行軍が強く へ就職することなくすぐに

地で開かれるお祭りの際 り合ったのだ。三男さんは 青年学校当時から仲の良 なかなかロマンチックだ。 男さんと結婚した。経緯は かった友達数人で、秋に各 いろんな地域に出かけ、偶 二十三歳の時、同年の三

七人家族となった。

ら十三年前に亡くなった。 詰めであったが、残念なが 無く、付き合い程度であっ 特に酒が好きということも 柄酒席の機会が多かったが、 かったが、段々とビルや公共 顧客は当初一般民家が多 は二十年近くに亘り熱心に トゴルフとパチンコ。前者 た。丈夫な体をかてに働き 工事へと社業を広げた。仕事 いたが、やがて建築関連(丸 に仕える材木業に携わって |建設)に業務を広げた。 治子さんの趣味はマレッ

精を出した。

復旧等の土木作業や農業に 近所の女性達と一緒に堤防 建に当たった。治子さんも あったが、義父母を含めて 七人きょうだいの三男

兄弟や田島屋さん(屋号、片

ほとんどを失ってしまった。

が流失してしまい、家財の たが、堤防の決壊により家

桐満さん方)の慈愛を受け

しばらくの期間空き部

自宅が天竜川の近くにあっ

三六災害は大きく且つ苦

で所属クラブの優勝に貢献 腕を磨き、近辺の対抗試合 三男さんは主に森林組合 霧ヶ峰で開催された大

泉が好きで、特別 婦で通っていた。 が思い出深い。国内では温 国、台湾などへ行けたこと 社員旅行でラスベガス、中 などを見ている。 ニュース、歌番組、スポーツ しかし三男さんど たが、帰りの時間を気にする 飯田近辺まで足を運んだ。 あった。後者では毎週末に 会に出向くこと へは毎月のように常宿に夫 レビは時代劇を好み他には と自然に足が遠のいた。テ で出かけるのが常であった。 三男さんも同じく興じてい ことの無いように、別々の車 に下呂温泉 旅行では か亡くなる

感謝している。更に結いのは一生忘れられなく、大変

屋に住まわせて頂いたこと

絆により助け合い復旧、再

の運転免許は四十歳で取得 転は二年前から控えている。 家族の勧めもあり実際の運 し現在も所持しているが、 中心に目を通して こともない。新聞は一面を 脚力のいずれも問題なく、 なく、現在でも聴力、視力、 ここ何年かは風邪をひいた 健康面では大病の経験は ている。車

も動じない肝っ玉母さんと 夫婦との三人暮らしで、近 くの畑での草取りを日課と れた場所にある家で、長男 たないと謙遜するが、何事に いる。万事に控えめで目立 ねてくれるのを楽しみにして 近くに住む娘や孫が時々訪 して穏やかに過ごしており、 現在は堤防から一㎞ほど離 資料館特別展の

ご存知のように典徳氏は、

らのご協力をいただき、典

実家やご遺族、京浜急行か

端を紹介し

在の姿の一

した。しかし、この一年、ご ナのため延期となっていま

徳氏の生涯の概要をおおよ

戦前・戦後

ます。また、

の京急を支

そ掴むことができました。

展示内容は、第一部「片

氏の人と仕事」としました。 マを「名誉村民 片桐典徳 氏にスポットを当て、テー

た湘南鉄道(現在の京浜急 生まれ、昭和初期に入社し 明治末、旧神稲村の林里に

桐典徳氏の人と仕事」第二

名車輛|デ えた往年の

ハ230型

「京浜急行の紹介」の二

案内

門館

来月十一月二十一日(日)~

今年度の資料館特別展を

|十八日(日)の八日間、公

研修室で開催します。 せて「ゆめあるて」の第 民館の文化祭作品展に合わ

等瑞宝章を受章しています

実はこの展覧会は昨年予

定していたのですが、コロ

名誉会長にまで上りつめた

部構成で準備を進めていま

す。第一部では、典徳氏の

(ブラレール)

誠文堂新光社

長島博 (監修)

大崎 メグミ (イラスト)

を走らせる計画もあります

芦川殿追放の理由は何

大実業家で、晩年には勲一

の名誉村民である片桐典徳の名誉村民である片桐典徳の二人め



芦川殿のこと 三石善雄

の豪族としての勢力があり

め壬生沢に落ち着き、地方

初秋の飯田の花火見物など

に、その一族が涼み台を使

あったと見えまして、徳川 沿って水便もよく、九十戸 地形にて、交通は誠に困 う平地を境にして、急坂を 時は世を隠遁するに適当で に近い部落であります。昔 もって伴野に通ずるという 川の急流に沿って舟平とい しています。往時は壬生沢 も整備できて、バスも通過 分ということになっていま でありました。壬生沢川に した。最近は地形的に交通 落は、旧来は伴野村壬生沢 豊丘村の壬生沢という部

黄金千両二千両

ح

原秀氏が尹良将軍という人 て壬生肥後守秀氏と姓を改 原秀氏は壬生沢に遁れ、応 足利方の地方軍に敗れ、藤 幕府末、文政年間に没落い りました。二族ともに徳川 氏の一族がともに壬生沢に すが、藤原氏の一族、足利 時代前であったと思われま たしました。 遁れまして勢力を張ってお 五兵衛宅に落ち着きました。 永四年八月十五日、壬生沢 に従って下伊那の浪合にて 藤原氏の末孫、従五位藤 以後、足利氏を恐れまし 際していたそうであります。 う平地ができています。最 屋敷の付近に、涼み平とい 現在に至っています。 きるという制度になり、そ して、三家は常に親しく交 家、芦川殿、喬木村加々須 盛の時代に壬生沢には壬生 字芦川の高台にあります。 の際、壬生沢の半数以上が 姓は自由に改めることがで に勝家という豪族がありま 「壬生」 という姓に改めて さて、芦川殿のことであ 芦川殿の屋敷跡は壬生沢

になっています。 菅沼氏、舟沢氏ということ 吉沢氏、東沢氏、片桐氏、 林氏、宮下氏、三石氏、日 住居していました。松下氏、 壬生沢には昔から九族が ありまして、言い伝えによ ます。また、芦川殿の屋敷 りますと の付近に、ちがやの大木が 用した跡が今に残っており ちがやのもとに 朝日さす夕日かがやく

す。明治維新になりまして、 の地位も失ったのでありま け尽くし、財政的にも急変 災にて家財一物も残さず焼 落追放、続いて壬生家も火 に豪族であった芦川殿は部 しまして久しく壬生沢庄屋 それが明治前、文政年間 とが伝えられています。 も出てこなかったというこ 近を掘りおこしてみたが何 好きな人がそのちがやの付 という歌が残っておりまし て、芦川殿を放逐後、もの

権力者の壬生家、芦川殿の 沢諭吉の「天は人の上に人 当時、幕末の気風として福 をつくらず」という、権力 がないので判明しないが だったのか、ただしい記録 あると思います。 な気風が高まってきたので 来よりあった九族の中で、 だと思います。壬生沢に旧 の中にも強くなってきたの 者に対する反抗の気風が山 支配的立場に対する反抗的

文責:壬生雅穂

その追放運動の中心にな

清七氏と子息が二代庄屋を あります。 (次号に続く) つとめ、明治になったので 家も没落いたしまして、林 長い庄屋でありました壬生 を追放しました。壬生沢で 力者でありまして、芦川殿 す。林氏は当時、部落の実 (豊丘村民話集・第弐集

〈昭和五十三年〉より

りましたのが現在の壬生清 美氏方の五代先代の林清七 氏であったそうでありま 見えかくれす雲間の月は望の月 身ほとりに遺愛の句集雨の盆 水音も料理の一品夏座敷 身の丈をもてあましをる穴まどひ 法師蝉終活いまだ手付かずに

資料館特別展 片桐典徳氏の人と仕事

名誉村民片桐典徳氏は、明治42年林里に生まれまし 飯田商業学校を卒業後上京し一年余の後、京浜急行電鉄株 式会社前身の会社に入社しました。長く民営鉄道の代表と 昭和63年に2回目の叙勲、 豊丘村では名誉村民の称号を贈りました。

·プのトップとして、また、民営鉄道のまとめ役とし

て走り続けた片桐典徳氏の人生を大判パネルで展示します。 文化祭作品展では、公民館グループの作品を始め、 や趣味で作品作りをされている皆様の作品を展示します。

出品のお申込み・お問合せ: 公民館 ☎35-9066

二日(火)伴野勤労者福

祉センター

十一月の移動図書 移動図書のご案内>

四日(木)小園研修セン

金魚も見つかるかも。 ます。身近なあの人に似た 魅力がいっぱい詰まってい

時間 午後八時~九時 五日(金)壬生沢福島集 落拠点施設

「マンガでわかる <本の紹介> 日本料理の常識

はかつお節を使うのは、水 えながら、わかりやすく解 を基に、海外との比較も交 質が違うため。「かまぼこ」 し」。関西では昆布、関東で 気候、風土、歴史などの視点 見た日本食文化(日本人に の歴史は平安時代まで遡る。 説されています。例えば「だ 十六世紀来日の宣教師から 日本の伝統的な食文化が

しています。 唐澤武彦)

(資料館主任

んの皆様のご参観をお待ち

小中学生を含め、たくさ

急行グループの歴史と現 どり、第二部では、京浜 を交えてトピック的にた 生涯を写真とエピソード

は汁が欠かせない)等々。

|切り紙でつくる恐竜図鑑| 大原 まゆみ (著)

貼り合わせ、組み立ててで 楽しんでみませんか。 考になります。大人も子ど が満載です。ご家族一緒 もも楽しめる恐竜の切り紙 利な道具、接着剤なども参 きれいに切る・折るコツ、便 五点が載っています。紙を きる立体恐竜切り紙、五十 誠文堂新光社 型紙を使って紙を切り

▼課

題「敗」 互 選



〈豊丘村川柳クラブ豊柳会〉

₩

角度変え見れば良いとこ次々と 原

軸吟…度の強い酒は静かに味があり 度忘れは老順調に来たあかし 西元 峯子 度が過ぎりゃかける親切仇となる 福沢

勝ちい 失敗を恐れず進み今日がある 失敗が人を大きく育て上げ 敗けを越えて笑顔の太絆 山本 義彦

長い路もう峠などなし下り坂 ▼自力 られぬゴミの居場所は奥座敷 小澤 先にカラス逃げるか案内か 安田 喜子 由吟 福沢勝美 選 …柿りんご色づく秋や農楽し 久保ひろし

秋蝶の肌にまつご 下り舟天竜川傾ぐ初嵐 夏休みグリム童 はる夕間暮れ 話と雑魚寝して

細井 恵子 池田 美和 矢島千勢子 林 忠美子

明子

森田 片桐

恵子 真水

> 少年の薄き唇青密柑 白き羽梁に光ら

洋子

せ蜩翔つ

磯部セツ子

故郷も見知らぬ顔に吾赤紅 物忘れ亡ず齢や花茗荷

木下

色なき風逢ひたき人の皆遠し

稲刈りし荒手に締むる祝帯

〈とよおか短歌会〉

ぶどう棚に数十本のアンブレラ幼木守る園主の心

熱帯夜ワクチン接種と重なりて頭冷やすも一夜眠れず

酢漿草は小さき莢の実をつけてビビビとはじく細かい種を 福澤貴美恵

『うおづら』

大和書房

森岡 篤 (著)

ドシャ降りの雨音聞こえ目覚めいる雨漏りの音時をきざめり 松尾ヒサコ

雨続き南天畑の 猫じゃらしわが物顔で高さを誇る

柿の木にひと足っ -くピンク色朝顔の花柿の実のごと

意外と表情豊かで愛嬌があ 考えていないようですが、

る、そんな個性的な金魚の

た写真集です。一見、何も

金魚の顔を正面から撮っ

十六年暮らした犬の逝きたれば添い寝し左の空間広し 身めぐりの激し く変わる今の世に命の重さ友と語りぬ

終へ丁寧に猫砂を掛け小声にて鳴く

雌猫が用を足しな

題「度」 久保ひろし 選

~シリーズ~ 豊丘の自然 No.213

マツグミ (オオバヤドリギ科)



れている様な気がし ないが、鳥に食べら ことにした。確証は 調査研究を断念する

気がして。

私自身が外側を生きている

14)との記事を目にして。

の個体識別をしての いたミスジマイマイ

崎放哉」(信毎、R3、8) て軒の下で住んでいる〉尾 二回にわたって書

いる。〈蜘蛛がとんぼをとっ

てならないから。

ここに紹介するマツグミ

前置きが長くなったが、

「野生生物は食べ

加があり、総当たりのリー

意して開催されました。 間にわたりコロナ対策に留 部四チーム参加のもと二日 レーボール大会が、混合の ております夜間ソフトバ 従来この大会は、女子の

それぞれ七チーム前後の参 があり、コロナ前の数年は、 部と混合の部の二つの部門

毎年夏の終わり頃に豊丘

準優勝

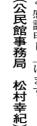
兀 役場Aチーム(1勝2敗) ょ お か

(混合の部)

と今年は参加チームが激減 コロナ禍に見舞われた昨年 グ戦を行ってきましたが、

など、工夫や検討が必要で とかならないか」との声が が続いているようです。 参加することが難しい状況 のような活動・催しの場へ できました。やはり、医療 今年は混合の部のみが開催 し、昨年は女子の部のみが、 より良い開催方法はないか て参加チームを増やすか、 ムが少なくて寂しい なん ている方など、まだまだこ や福祉関係のお仕事をされ あり、次回以降、いかにし 参加者からは、「参加チー

く感謝申し上げます。 ご参加いただいた皆様に深 に制約が多い中、本大会に コロナ禍でそれぞれ活動 あると痛感しました。



勝

天恵チー: BWHチーム(3勝0敗) (2勝1敗)

役場Bチーム(0勝3敗)

村公民館が主催して開催し





印象的に撮るなら

よく耳にすることに、露 露出を調整すること

ルを回し好みの明るさに補 と一ボタンもあり、ボタン か、ボタンがあります。左 ●ほとんどのカメラには明 正するタイプなどがありま を押しながらメインダイヤ 写真はダイヤル式ですが+ るさを調整できるダイヤル 出補正と言う言葉がありま すが、何のことでしょう。



て、食べられて、

今どきのコンデジはこのように ダイヤル式が多く、簡単に補正 できます。他には一/ +のボタン `いる機種もあります。

定したのに神社の御神木の

がを枯らすとの理由で除

考えで「準絶滅危惧」に指

木)もまた、人間の勝手な (主にマツに寄生する小低

う輪の中にいて、人 らは命で命を支え合 後は分解される。彼

はその外側を生きて

去されている。







させて群青色にご

しまったから哀り



るのです。

カメラは色で明

気持ちを盛り込

むこととな

ことにより撮影 で寂しげになど、 整することが必要です。 ら、補正ダイヤルを使い調 たり白く明るいのにグレー す。黒いのにグレーになっ 中間トーンにしてしまいま グレー全ての色の明るさの ても明るくても中間の18% な明るさにするため、暗く になったのでは困りますか

ぼ中央付近の明るさを適正 気味にすることで、白い花 では青空に向ける いでしょう。下の おり気持ちマイー くてもきれいなな 小屋と稲穂では、 はしっかりみえ 暗い場所ではマイナス補正 となっていますが、背景が が明るすぎたり した。青空は補正しなくて

んています。

増すぎたり





花の様子を見せたければプ でに枯れて れみを付加 したときの ンルエット 補正する の補正、黄色や黄緑はプラ 色が多い場合にはマイナス 良いですが、紺色から赤紫 い場合には補正しなくても 般に緑やオレンジ色が多

ラスの補正。する

労暗を判断 を撮影しておくことです。 まま写すことに原理はなっ はできますが迷ったら前後 ています。後からレタッチ スの補正が本来の色をその

文部科学省によれば、公民館の ある。 うだけだった行事を見直すきっか ように実行できなくなるおそれが 場合が多いが、度重なる行事の中 感を保つのか意義が問われる。 安定をもたらす機能もある。イベ きっかけとなる分館行事は地域 止で運営方法が伝達できず、元の ントなしでどのように分館の存在 分館役員は一~二年で交代する 一方で、惰性のように前例に従

けでもある。高齢化、過疎化の中

区の運営とは分離された分館が

か、コロナ後を見据え分館のあり

でどのように住民を「むすぶ」の

方を本館と連携しながら考える時

参照)。 会などの行事が激減している(表 催のスポーツ大会、納涼祭、運動 昨年来、コロナ禍により分館主

第3・4位

役場A・Bチーム

り)。地域を特定した分館は、親

準優勝 天恵チーム 役割は「つどう、まなぶ、むすぶ」 であるという(ホームページよ

BWHチーム

しい間柄で行うレクリエーション

など人々を「むすぶ」役割を担っ ていると言える。

まとめ、独特なカラーを作ってき 特色ある行事を行うことで人々を ている状況で、新旧住民が親しむ た。村外からの移住者も受け入れ

露出を補正する 期である。 (文責:壬生雅穂)

はなんでしょう。 露出補正が必要な理由と

入って来た光を測光し、ほ ●カメラはレンズを通して







補正することで写真に自分の心を写し込む

フラスからマイナスまでの サンプルでも判るように 面によっては撮りたいもの 三枚を並べてみました。場

黒の濃さで測っ するのではなく

ています。

(監修:宮下正弘)

色を白か

今年度の主な分館行事の実施状況と予定				
	夏季(農休日・遊休日) スポーツ大会	夏祭り・納涼祭	運動会	その他
第1分館 (河野)	中止	中止	10/24 代替事業を 実施予定(マレッ トゴルフ大会)	申止 マスの掴み取り2 月冬季レク (ボウリング)
第2分館 (田村)	6/27 実施 マレットゴルフ大会 <mark>中止</mark>	7/24 代替事業実施 (花火の打ち上げ)	中止	・区と分館の役員による環境整備 ・ボウリング大会
第3分館(林里、原木門)	中止	中止	予定なし	申止 親睦レク(ボウリング)・冬季レク・新年会
第4分館 (伴野)	中止	7/31 実施	中止	申止 11 月図書部お楽しみ会・冬季レク (ボウリング)・おやすづくり
第5分館(堀越)	7/11 実施 夏季スポーツ大会 (囲碁ボール、マレットゴルフ)	中止	中止	・9月 桜の手入れ ・10月 グラウンド整備 ・学習会・2月冬季レク
第6分館 (佐原)	7/18 実施 農休日スポーツ大会 (マレットゴルフ)	中止 (代替事業を計画 するも中止)	10/24 実施予定	・2 月冬季レク (囲碁ボール) ・おやす、どんど焼き、学習会
第7分館 (壬生福)	6/13 実施 夏季スポーツ大会 (マレットゴルフ)	中止	中止	・分館報を年5回発行予定 ・1月又は2月に学習会 (料理教室)